

市民参加による都市計画マスタープランの策定 「まちづくり研究会」での検討が進んでいます。

南アルプス市の「都市計画に関する基本的な方針」(都市計画マスタープラン)の策定に向けて、公募市民が中心となってまちづくりのあり方を考え、提案するため、「まちづくり研究会」での検討が進められています。ここでは、研究会での活動経過をお知らせします。

研究会は、これまでに計6回が開催され、テーマグループ別にまちづくりの課題や今後の方向について、具体的な検討が進められ、第六回では、まとめとして、まちづくりの課題と方向が検討されました。

これまでに、6回の研究会を開催

「まちづくり研究会」は、市民意向の反映した、本市のまちづくりのあり方について検討し、マスタープラン策定審議会に提言する組織です。公募募集者を中心に男女計三十五名の年齢・職業・居住地等の異なる多彩な顔ぶれの市民で構成されています。また、会は市の関連部局職員、山梨大学工学部大山勲助教授及び同工学部学生の参加を得て進められています。

多彩な顔ぶれの「まちづくり研究会」



都市(まち)づくりの主要課題事務局案(第6回まちづくり研究会資料より)

(1) 土地利用

暮らしやすい、活動しやすい都市としての土地利用の明確化と実現策が必要です。中でも、分散する都市的土地利用について、市民合意の上で、計画的な方向付けが求められます。さらに、新産業の確保や市街地での産業・交流機能の強化や地域再生などの方向付けと着実な施策化が求められます。

(2) 環境共生

農林自然環境の保全とともに、環境と共生し、環境への負荷の小さな都市の形成が求められます。環境負荷の小さな都市づくりや都市交通施策と土地利用計画の連携、エネルギーロスの少ない交通施策、下水道事業の推進、ゴミ対策、低公害公共交通システムの検討、生態系を考慮した生物生息空間の確保など、身近なことから地球規模まで、様々な対処を都市計画・まちづくり施策として具体的に推進することが必要です。

(3) 美しい風景の育成

「美しい風景の都市」を具体化する施策の展開が求められます。景観の整備、規制、誘導策や誘導マニュアル等の制定、景観形成に関わる住民参加活動を担保する行政支援策、住民主体の推進体制や手続きなど具体的な施策化が求められます。

(4) 快適な交通システムの形成

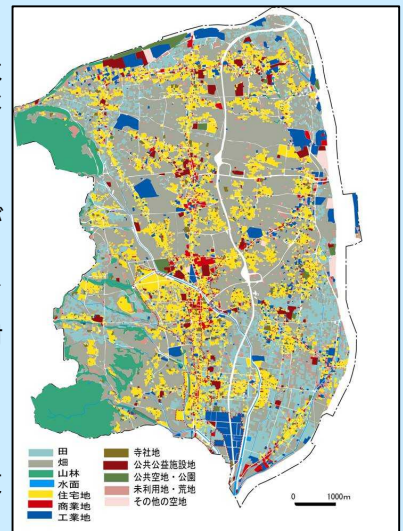
生活環境、産業、経済活動等のため道路交通システムの一層の充実が必要です。特に、公共交通システムの整備、交通バリアフリー化とともに、安全な歩行者生活交通基盤の改善は、日常的課題です。

(5) 共生型新産業の形成

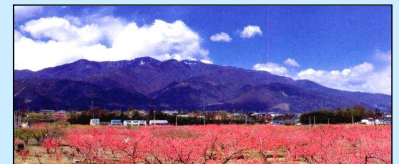
農地の流動化、荒廃化が進行しています。産業構造へも積極的に働きかけるような資源活用型・環境共生型のまちづくりが求められます。特に、農林交流体験の場づくりから産業へ働きかけるようなまちづくり・里づくりの推進が求められます。また、豊かな多自然居住と連携した新産業地の一層の強化も課題として挙げられます。

(6) 安全・安心のまちづくり

福祉のまちづくりを推進するとともに、施設空間(公共施設、住宅等)のバリアフリー化と、高齢者交通対応の公共交通システムの構築が求められています。また、市街地、集落地における防災強化が必要です。安全で安心できるまちづくりのためには、これらの具体のまちづくり推進と連携して市民参加による官民協働のまちづくりの具体化が強く求められます。



分散する土地利用の状況



美しい都市の景観



安全・安心のまちづくり

まちづくり研究会会員名簿

グループ	氏名(地区)敬称略	
生活まちづくり 検討グループ	矢崎政子(白根地区)	名取あけみ(若草地区)
	横内昌久(櫛形地区)	杉山由美(櫛形地区)
	渡辺颯誠(甲西地区)	保坂弘子(甲西地区)
都市の魅力化 検討グループ	大野 仁(八田地区)	中島聖司(八田地区)
	三枝正輝(八田地区)	清水信之(白根地区)
	飯野重男(白根地区)	松本春雄(白根地区)
	大瀧要造(芦安地区)	矢崎正美(若草地区)
	金丸辰雄(若草地区)	常盤 修(櫛形地区)
環境保全 検討グループ	中島克弘(八田地区)	芦沢誉明(白根地区)
	斉藤文子(白根地区)	森本聖治(芦安地区)
	中込秀樹(若草地区)	水地美丘(若草地区)
	加藤 智(若草地区)	塩沢克己(甲西地区)
	内藤勝正(甲西地区)	
計画実現化 検討グループ	小野捷夫(白根地区)	名取和弥(若草地区)
	塚原 正(若草地区)	古屋浩之(若草地区)
	内藤 眞(櫛形地区)	杉山晃一(櫛形地区)
	櫻田 清(櫛形地区)	深沢悠紀彦(甲西地区)
	市橋幸男(甲西地区)	大久保厚仁(甲西地区)

市民主導による研究の活動
 会員から「行政主導でなく、市民主導で」、「都市計画はわかりにくい。都市計画の枠をはずして考えたい」、「様々なテーマを重視して検討したい」、「実現できる計画をしたい。」などの意見がだされました。

このため、研究会は、生活まちづくり検討グループ、「都市の魅力化検討グループ」、「環境保全検討グループ」、「実現化検討グループ」の4グループに分かれ、テーマを設定して、市民主導による検討が進められています。

まちづくり研究会によるまちづくりの課題と方向(検討結果の概要)

目 標	課 題 と 方 向	個 別 策	提案グループ
水と緑の資源を守りたい。	水源の森を大切に	森林保全と観光利用の調整、森林ボランティア活動	環
	水量を確保と水質の改善	市民生活意識改革、資金の確保、下水道・河川の整備	環
環境にやさしい循環型社会にしたい。	温暖化対策とライフスタイルの見直し	エコカーの普及や自転車利用、公共交通の整備・強化・転換	環・実・魅・生
	ゴミ対策	分別収集、情報公開・啓発、ゴミの資源化、グリーン購入	環
資源を活かし魅力あるまちづくりを進めたい。	歴史・文化資源の保全、活用	資源発見と活用・PR、美しい景観や場所の保全・活用	環
	樹園観光の魅力化・活性化	観光農園誘客、特産品、直売所、オーナー制度、宿泊施設併設	魅
	遊休農地の活用	休耕地の活用、オーナー制度、農業特区制度の活用	魅・環・実
	地域の特色を活かし、市の魅力のアピール	市のイメージづくり、三大扇状地セールス、山岳観光振興、櫛形山南文字焼き、道の駅などの施設整備、山岳観光と果樹観光の連携	魅・生
安心で便利なまちにしたい。	子供・高齢者に配慮したまちづくり	既存施設の有効活用、子供の遊べる場所づくり、子育て支援場所の確保、ボランティア活動の展開	生
	防災、防犯対策	既存防災施設の周知、災害に備えての道路整備、堅固な建物への移行、子供の安全確保対策	生
	高齢者配慮の交通環境整備	公共交通の確保充実、市内循環バス運行、生活道路整備、計画的道路整備	環・生・魅・実
	地域生活利便の確保	地域ごとの施設の集積(一箇所ですべての用事がたせる場所づくり)、車で行ける商店街づくり、買い物のための交通確保	生
住みたいと思える元気で魅力のあるまちにしたい。	美しい景観づくり	景観づくり、眺望スポットづくり	魅
	快適な歩行者自転車空間づくり	遊歩道・自転車道整備と多様な選択コースづくり	魅
	魅力ある街なか市街地づくり	街なか市街地の活性化、街並みの整備、商店街での建て替えルールづくり、緑化の推進、サイン計画と設置	魅・生・実
	市民交流の促進	多世代交流の場の整備、公民館等既存施設の活用、	生
計画的に都市形成を進めたい。	土地利用の秩序化	土地利用計画の立案と合意、宅地の分散化の抑止	実
	農地の保全	果樹観光の振興、樹園観光の振興、税金投入、空地・農地買い上げ、都市計画制度活用検討、農業特区制度活用	魅・実
	都市機能の集中集積	商業・生活利便施設、病院、公共施設が身近に集中し徒歩で生活できるまちづくり、宅地分散の抑止、インター周辺等での新たな産業地の計画的整備	生・実
人的資源づくりと活用を進めたい。	交流人口の拡大と人的資源の確保活用	団塊世代の田舎暮らしの受け皿整備、新たな人的資源の確保	実
実現できるまちづくり計画をめざしたい。	市民と行政の協働の推進	行政情報の公開、市民参加と窓口づくり・任組みづくり、行政説明責任の明確化と行政不信の払拭、行政能力の向上、市民参加の計画づくりと計画達成指標の明確化	実
	まちづくり推進手法の充実	公平公正な規制措置化、まちづくり手法の充実	実

注：生は生活まちづくり、魅は都市の魅力化、環は環境保全、実は計画実現化の各検討グループからの意見です。なお、土地利用のあり方など、個別策については、今後、研究会として、具体的な検討や調整を必要としています。